

会議名	令和6年度第3回上下水道事業経営審議会
日時	令和6年8月8日(木) 10:00~11:15
場所	岐阜市役所 6階 6-3会議室
出席委員	服部勝弘委員、浅野裕司委員、箕輪光頭委員、河合智美委員、佐藤幸太委員、後藤尚久委員(会長)、森健二委員、服部学委員、清水達郎委員、廣瀬美紀委員(副会長)
欠席委員	武藤豪委員、田島義則委員
次第	1 開会 2 会議 ○報告事項 ・第2回上下水道事業経営審議会における追加資料について ○審議事項 ・水道料金のあり方について (1) 水道事業について (2) 今後の施設整備計画について (3) 財政状況について 「令和2年度に策定した財政計画と実績との比較」 3 その他 4 閉会
議事概要	<p>《報告事項》</p> <p>資料「第2回上下水道事業経営審議会における追加資料」について事務局から説明。</p> <p>《報告事項に対する質疑》</p> <p>(1)第2回上下水道事業経営審議会における追加資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、資料記載の滞納整理の予告通知書発送件数は、滞納件数かそれとも再送付を含む延べ発送件数のどちらかとの質問があり、延べ件数であると回答。 ・委員から、滞納の主な理由と未収金回収が困難となる理由を質問され、滞納理由は、納付忘れや生活困窮による支払い遅延など様々な理由がある。また、未収金回収が困難となる理由のひとつに、転居を繰り返し居所が特定できなくなる場合が上げられる。これに対して、未収金回収業務を委託している弁護士法人に滞納整理をお願いしていると回答。 ・委員から、給水停止の解除条件について質問があり、完納以外では、分割納付された場合においても解除していると回答。 ・委員から、収納率向上のための対策について質問され、支払い易い環境の提供として口座振替の他に、モバイル決済やクレジットカードによる支払いも導入するなど、引き続き収納率向

上に努めると回答。

《審議事項に対する質疑》

・水道料金のあり方について

(1)水道事業について

(2)今後の施設整備計画について

(3)財政状況について「令和 2 年度に策定した財政計画と実績の比較」

・委員から、材料費と労務費の実績金額を質問され、次回の審議会でお示しすると回答。

・委員から、財政計画における令和 6 年度の金額が予算額であることから、現在の予算執行状況を含めた財政計画の提示を依頼され、次回、精査した数字をお示しすると回答。

・委員から、施設整備計画にある「方県水源地の加圧施設化」の概要について質問があり、方県水源地の老朽化に伴い、整備方針を検討した結果、新たな水源地を建設するより、既存の雄総水源地から方県地区へ送水するための加圧施設を建設することが費用対効果が高いと判断し、建設を進めるものであると回答。

・委員から、令和 2 年度の「今後 10 年間は 10 億円の補てん財源確保の見通し」との答申に対し、現状の財源状況では「困難」との見解となった理由と、今後の補てん財源残高の金額について質問され、「困難」との見解となった理由は、令和 2 年度の答申時には想定できなかった労務単価、電気料金の値上げ、物価高騰などによるものであり、補てん財源残高 10 億円以上確保していくという考え方は、令和 2 年に策定した経営戦略や審議会での議論も踏まえ、健全で持続可能な経営を堅持するため、今後も引き続き目標値としていくと回答。

・委員から、下水管の未布設地区について質問があり、下水道整備状況は農地を除く市街化区域についてはほぼ完了している。市街化調整区域の開発団地 7 区域のうち 6 区域完了し、現在は残る 1 区域の布設を進めているところであると回答。

《その他の質疑・意見等》

・工事発注の平準化の要望があった。